

Q1: 立ち上がらない

以下、マニュアル 3 章 システムインストールおよび初期設定に従い、操作願います。
具体的な設定方法は

- インターネット版 【Page2, 3】
- スタンダード版 【Page3~5】
- CDフル機能版 【Page5~8】 です。

インストール、初期設定にあたり、以下を注意、確認願います。

- INTERGLAD の利用形態は、
インターネット版、スタンダード版、CDフル機能版か 【Page1】
※形態により設定方法が違います。また、インターネット接続の要・不要、
利用機能に制限があります。
- PC の OS(オペレーティングシステム)は64Bit 版か、32Bit 版か 【Page3、5】
※パッチファイルの書き換えに関係します。
- PC に **Java のインストール**が必要です。
また、インストールする Java は、**Ver7か、Ver8 か、両方か?**
※Java のバージョンにより、利用できる機能に制限、パッチファイルの書き換え
に関係してきます。【Page1】

E. 構造データベース検索・解析方法	28
F. ユーザーデータベース登録・利用方法	31
F.1 データ登録	31
F.2 データ一括登録	33
F.3 ユーザーデータベース利用	36
付帯資料	
1. 多次式重回帰分析について	39
2. データ補間について	40
3. 代表値について	41

INTERGLAD のご使用が初めての方も、
本章の基本操作方法により一通りの利用ができます。
詳細はユーザーズマニュアル第 4 章をご覧ください。

システムインストールおよび初期設定方法

INTERGLAD 利用形態（スタンダード版、インターネット版、CD フル機能版）によりシステムインストールおよび初期設定方法が異なります。また、使用する Java のバージョンにより、利用可能な機能、設定方法が変わります（下の一覧表を参照ください）。

1. インターネット版利用
2. スタンダード版利用
3. CD フル機能版利用（1. 2. 3. につき、主に Windows 10 の場合で説明）
4. スタンダード版、CD フル機能版のアップデート方法
5. 新 INTERGLAD サーバーへの移行に伴う接続先変更方法

INTERGLAD Ver. 7 利用形態、利用可能機能、設定

1. インターネット版：システムのインストール不要、最新のデータでファイル入出力およびユーザーデータ以外のフル機能が利用できます

システム インス トール	インター ネット 接続	認証	Java (32bit)	利用 データベース ¹⁾	利用機能					パソコン			
					検索	解析	予測 設計	印刷 ²⁾	ファイル 入出力 ³⁾	ユーザーデータ 変換・登録	動作環境	バッチファイル書き換え	
不要	要	サーバー (ID, PW)	Ver. 7	サーバーDB	○	○	○	○	×	—	Windows Linux Mac OS X	—	—
			Ver. 8										

2. スタンダード版：最新のデータでフル機能が利用できます（Java Ver. 7使用の場合） 最新のデータでユーザーデータ以外のフル機能が利用できます（Java Ver. 8使用の場合）

システム インス トール	インター ネット 接続	認証	Java (32bit)	利用 データベース ¹⁾	利用機能					パソコン			
					検索	解析	予測 設計	印刷 ²⁾	ファイル 入出力 ³⁾	ユーザーデータ 変換・登録	動作環境	バッチファイル書き換え	
要	要	サーバー (ID, PW)	Ver. 7	サーバーDB	○	○	○	○	○	—	Windows Linux* Mac OS X* (*サーバーDB のみ)	要 ⁵⁾	要 ⁶⁾
				ローカルDB	○	○	○	○	○	—			
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	○			
			Ver. 8	サーバーDB	○	○	○	○	○	—		不要	不要
				ローカルDB	×	×	×	×	×	—			
				ユーザーDB	×	×	×	×	×	×			
暫定版 ⁴⁾ 解冻	要	サーバー (ID, PW)	Ver. 8	サーバーDB	○	○	○	○	○	—	Windows Linux Mac OS X	不要	不要
				ローカルDB	○	○	○	○	○	—			
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	×			

3. CDフル機能版：インターネットに接続せず、フル機能が利用できます（Java Ver. 7使用の場合） インターネットに接続せず、ユーザーデータ以外のフル機能が利用できます（Java Ver. 8使用の場合）

システム インス トール	インター ネット 接続	認証	Java (32bit)	利用 データベース ¹⁾	利用機能					パソコン			
					検索	解析	予測 設計	印刷 ²⁾	ファイル 入出力 ³⁾	ユーザーデータ 変換・登録	動作環境	バッチファイル書き換え	
要	不要	アクセッ スキー	Ver. 7	ローカルDB	○	○	○	○	○	—	Windows	要 ⁵⁾	要 ⁶⁾
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	○			
			Ver. 8	ローカルDB	×	×	×	×	×	—		—	—
				ユーザーDB	×	×	×	×	×	×			
暫定版 ⁴⁾ 解冻	不要	アクセッ スキー	Ver. 8	ローカルDB	○	○	○	○	○	—	Windows Linux Mac OS X	不要	不要
				ユーザーDB	○	○	○	○	○	×			

(注)

1) 利用データベース

- ・サーバーDB: ニュージャスフォーラムのINTERGLADサーバー中のデータベース（常に最新のデータを利用可能）
- ・ローカルDB: ユーザーのパソコンにインストールされたINTERGLAD中のデータベース（Web上あるいはCD中のINTERGLADシステムをダウンロードして使用）、毎年更新
- ・ユーザーDB: ユーザーによりINTERGLADに登録されたデータのデータベース（ユーザーのパソコン中に保管）、サーバーDB、ローカルDBと一緒に検索等の使用可能

2) 印刷: 表全体（画面に現れていない部分も含め）、図の印刷ができます

3) ファイル入出力: 検索条件、検索結果、解析結果、予測結果等のデータ保存（ユーザーのパソコン中への画面データのCSVあるいは画面保存）

4) 暫定版: Java Ver. 8で利用できるよう、JDBCおよびUCanAccessを利用した版（Java Ver. 8にODBCデータソースへのアクセス機能がなくなったため暫定的に作成したもの）

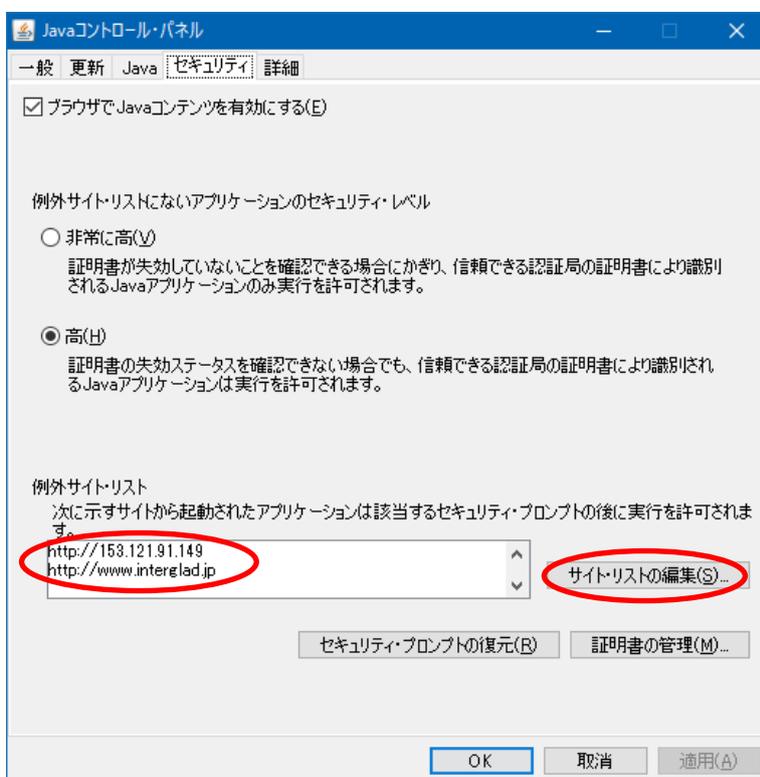
5) 32bit バッチファイルの書き換え 冒頭の「java」 → 「"c:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe"」 Java Ver. 7のみがインストールされている場合には書き換え不要

6) 64bit バッチファイルの書き換え 冒頭の「java」 → 「"c:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\java.exe"」 Java Ver. 7のみがインストールされている場合にも書き換え要

なお、INTERGLADは特性データベースと構造データベースより構成されます。構造データベースには予測・設計機能、ユーザーデータ機能がありません。また英語版のみとなります

1. インターネット版利用

インターネット版は、Web ブラウザとして Internet Explorer (9.0 以上) を使用の場合、Java (Version 6~8) のインストールのみで使用できます (2. ②参照)。Windows 10 等の場合、以下の操作が必要になります。コントロールパネルを開き、Java を選択します。開いた Java コントロール・パネルのセキュリティタブをクリックし、「ブラウザで Java コンテンツを有効にする」にチェックを入れ、「サイトリストの編集」をクリックし、例外サイト・リストを開き、追加をクリックし、<http://153.121.91.149> および <http://www.interglad.jp> を追加してください。インターネット版を使用する際、URL として <http://153.121.91.149/interglad7/> あるいは <http://www.interglad.jp/interglad7/> が使用でき、それぞれに対応した上記の Java 例外サイト追加が必要となるためです。なお、Web ブラウザの Microsoft Edge、Google Chrome は Java に対応していないため使用できません。Web ブラウザの詳細については第 2 章 4. (2) 3) をご覧ください。



Java コントロール・パネル セキュリティ画面

インターネット版の起動は、<http://153.121.91.149/interglad7/> あるいは <http://www.interglad.jp/interglad7/> により INTERGLAD WEB ページを開きます。このページは、ニューガラスフォーラム Web サイトより、INTERGLAD Ver. 7 ページを開き、右欄の INTERGLAD 接続、Ver.7 インターネット版をクリックすることによっても開くことができます。画面左の User ID および Password 記入欄にそれぞれを記入し、LOGIN ボタンをクリックします。その後、Windows10 の場合、以下のようなダイアロ

グ対処が必要となる場合があります。

- ①「Java は最新のものではなく更新が必要なためブロックされました」⇒「今回は実行」
- ②「このページを再表示するには、以前送信した情報を再送信する必要があります」
⇒「再試行」
- ③「Java のバージョンは最新ではありません」⇒「→後で」
- ④「このアプリケーションを実行しますか」⇒「実行」

INTERGLAD Ver.7 のメイン画面が現れますが、INTERGLAD WEB 画面の下となりますので、メイン画面を上にして利用してください。

2. スタンダード版利用

① パソコンの OS (オペレーティングシステム) 確認

パソコン OS が 64bit 版か 32bit 版かを以下により確認します。コントロールパネルのシステムとセキュリティを開き、システム画面を開くと、システムの種類が 64 ビットオペレーティングシステム、あるいは 32 ビットオペレーティングシステムと表示されます。

② Java インストール

下記 Web ページより Java をパソコンにダウンロードしてインストールします。

http://java.com/ja/download/ie_manual.jsp

この場合、通常、パソコン OS にかかわらず Java Ver. 8 の 32bit 版（最新版）が導入されます。Java Ver. 7 までには ODBC データソースへのアクセス機能がありましたが、Ver. 8 にはこの機能がありません。従って、Java Ver. 8 使用の場合、ローカル DB (データベース) およびユーザーDB の使用ができなくなりました。そこで、INTERGLAD のフル機能利用のためには下記のサイトより Ver. 7 (32bit 版) をインストールすることが必要となります。なお、Ver. 7 については Oracle 社のパブリックアップデートがすでに終了しています (2015.4)。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/java-archive-downloads-javase7-521261.html#jre-7u80-oth-JPR>

Windows x86 Offline: jre-7u80-windows-i586.exe

なお、このダウンロードは、画面の手順に従い、無償の Oracle プロファイルを取得し、設定したユーザー名、パスワードを入力して行います (わかりにくい場合には NGF 事務局にご相談ください)。

Java Ver. 7 がすでにインストールされている場合には、Java のアップデートにより、Ver. 7 を削除しないよう注意します。なお、セキュリティ上の必要がある場合には Oracle 有償サポートを利用することもできます。

またスタンダード版の場合、ユーザーデータ機能以外のすべての機能を Ver. 8 のインストールのみで利用できます。

③ INTERGLAD システムをインストール

- 1) 下記 Web ページを開き、User ID および Password を入力して LOGIN ボタンをクリックします。次に Download をクリックしてダウンロードページを開きます。

<http://www.interglad.jp/interglad7/download/>

上記 Web ページは、ニューガラスフォーラム Web サイトより、INTERGLAD Ver. 7 ページを開き、右欄の INTERGLAD 接続、スタンダード版プログラムダウンロードをクリックすることによっても開くことができます。

- 2) 表示される INTERGLAD Downloads 画面より、Windows 10 (7, 8 も同) の場合には、最新バージョンのインストーラー(interglad-7.*.*-setup-win.exe)を選択し、パソコンに保存後、インストールします。

なお、インストールのために、パソコンのセキュリティソフトを一時停止するか、セキュリティレベルを一時的に下げるなどが必要となる場合があります。例えば Windows 10 で Windows SmartScreen が有効となっている場合には、これを一時的に無効とする必要があります (コントロール・パネルのセキュリティとメンテナンス画面より、Windows SmartScreen の設定の変更を行います)。「Windows によって PC が保護されました」とのダイアログが現れた場合には、「詳細の情報」をクリックし、「実行」をクリックします。

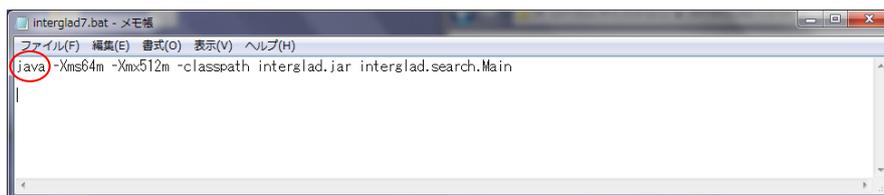
また、使用環境により管理者等の ID、パスワードが必要となる場合もあります。Mac OS X / Linux の場合には、Mac OS X / Linux 用の interglad-7.*.*.zip をダウンロード、展開します。

④ Java Ver.7 使用の場合には、[interglad7]バッチファイルの書き換え

この書き換えは、パソコン OS が 32bit で Java Ver. 7 と Ver. 8 を併用している場合、また OS が 64bit の場合には、Java Ver. 7 と Ver. 8 を併用しているかどうかにかかわらず必要となります。Java Ver. 8 使用の場合には必要ありません。

- 1) デスクトップに表示された [INTERGLAD 7.6] アイコンを右クリックして [編集] を開きます。
- 2) [interglad7] バッチファイル (interglad7 - メモ帳) の記載内容を書き換えます。
システムインストール時 (書き換え前、下図)

```
java -Xms64m -Xmx512m -classpath interglad.jar interglad.search.Main
```



冒頭の [java] を下記に書き換えます。

パソコン OS が 32 ビットの場合、

"c:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
 パソコン OS が 64 ビットの場合、

"c:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
 変更内容を保存します。これにより、インストール・設定が終了しました。なお、本
 操作にはマニュアルの pdf よりのコピー&ペーストが便利です。文字コードは ANSI
 とします ([ファイル]→[名前を付けて保存]より確認・変更ができます)。

⑤ INTERGLAD 起動

デスクトップに表示された [INTERGLAD7.6] アイコンをダブルクリックすると
 INTERGLAD システムが起動し、メイン画面が開きます。User ID、Password を要求
 するダイアログが現われますので、User ID、Password を入力し、[OK] ボタンをクリ
 ックします。Java Ver. 8 使用の場合には、「Cannot connect local database. . .」の
 ダイアログが 4 回現れますので、それぞれに「OK」 ボタンをクリックします。また画
 面上部のアイコンから Preference 画面を開き、INTERGLAD Data の Server を選択
 します。

以上の操作でインストール・設定が終了し、検索等の操作が実行できます。なお、
 Java Ver. 7 使用の場合には、上記の「Cannot connect local database. . . .」のダイ
 アログは現れません。User ID、Password の入力、INTERGLAD システムの起動毎
 に必要となります。

⑥ Java Ver. 8 対応暫定版の利用

Java Ver. 8 使用の場合にもフル機能が利用できるよう検討中であり、その暫定版を
 使用できます。本暫定版は、ODBC データベースへのアクセス機能を JDBC、
 UCanAccess により補完したもので、ユーザーデータ登録・変換以外のすべての機能が
 利用できます。既登録のユーザーデータはサーバーデータと一緒に検索また予測に使
 用することができます。

本システムを利用する場合には、まず③ 1)に記載された方法により INTERGLAD
 Download 画面を開き、[INTERGLAD の利用環境 (Java 実行環境)] をクリックしま
 す。次に、このページの 2 (2)に記載の INTERGLAD7.5b (Zip Binary) をダウンロード
 します。"interglad-7.*.*.0b.zip" セットアップ手順はそのページに記載されています。

本暫定版の立ち上げはデスクトップに作られた [interglad7] バッチファイルのショ
 ートカットアイコンをダブルクリックすることにより行います。最初の立ち上げにのみ
 多少時間を要します (10 分程度)。

3. CD フル機能版利用

① パソコン OS (オペレーティングシステム) 確認

パソコン OS が 64bit 版か 32bit 版かを以下により確認します。コントロールパネル
 のシステムとセキュリティを開き、システム画面を開くと、システムの種類が 64 ビッ

トオペレーティングシステム、あるいは 32 ビットオペレーティングシステムと表示されます。

② Java インストール

下記のサイトより Java Ver. 7 (32bit 版) をインストールします。

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/java-archive-downloads-javase7-521261.html#jre-7u80-oth-JPR>

Windows x86 Offline: jre-7u80-windows-i586.exe

このダウンロードは、画面の手順に従い、無償の Oracle プロファイルを取得し、設定したユーザー名、パスワードを入力して行います（わかりにくい場合には NGF 事務局にご相談ください）。

Java Ver. 7 までには ODBC データソースへのアクセス機能がありましたが、Ver. 8 にはこの機能がありません。従って、Java Ver. 8 のみ使用の場合には、ローカル DB（データベース）が必要な通常の CD フル機能版の利用ができません。Java Ver. 8 のみの使用が必要な場合には、3. ⑥をご覧ください。なお、Java Ver. 7 については Oracle 社のパブリックアップデートがすでに終了しているため、セキュリティ上の必要がある場合には Oracle 有償サポートを利用することもできます。Java のアップデートにより、Ver. 7 を削除しないよう注意します。

③ INTERGLAD システムをインストール

CD 中の下記インストーラーを、パソコンに保存した後、インストールします。

Windows 10 (7, 8 も同) の場合 `interglad-7.6.*.*-sa-setup-win.exe`

なお、インストールのために、パソコンのセキュリティソフトを一時停止するか、セキュリティレベルを一時下げるなどが必要となる場合があります。例えば Windows 10 で Windows SmartScreen が有効となっている場合には、これを一時的に無効とする必要があります（コントロール・パネルのセキュリティとメンテナンス画面より、Windows SmartScreen の設定の変更を行います）。「Windows によって PC が保護されました」とのダイアログが現れた場合には、「詳細の情報」をクリックし、「実行」をクリックします。

また、使用環境により管理者等の ID、パスワードが必要となる場合もあります。

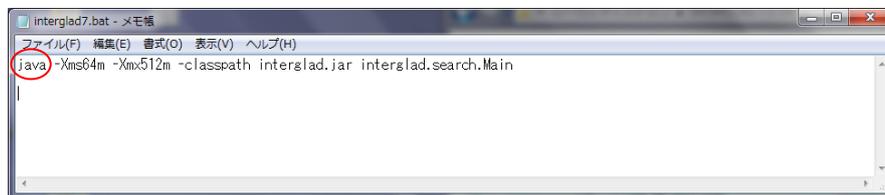
④ [interglad7]バッチファイルの書き換え

この書き換えは、パソコン OS が 32bit で Java Ver. 7 と Ver. 8 を併用している場合、また OS が 64bit の場合には、Java Ver. 7 と Ver. 8 を併用しているかどうかにかかわらず必要となります。

- 1) デスクトップに表示された [INTERGLAD 7.* SA] アイコンを右クリックして [編集] を開きます。

- 2) [interglad7]バッチファイル (interglad7 - メモ帳) の記載内容を書き換えます。
システムインストール時 (書き換え前、下図)

```
java -Xms64m -Xmx512m -classpath interglad.jar interglad.search.Main
```



冒頭の[java]を下記に書き換えます。

パソコン OS が 32 ビットの場合、

```
"c:\Program Files\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
```

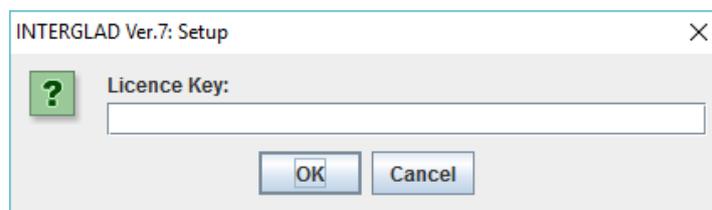
パソコン OS が 64 ビットの場合、

```
"c:\Program Files (x86)\Java\jre7\bin\java.exe" ("も含める、スペース半角)
```

変更内容を保存します。これにより、インストール・設定が終了しました。なお、本操作にはマニュアルの pdf よりのコピー&ペーストが便利です。文字コードは ANSI とします ([ファイル]→[名前を付けて保存]より確認・変更ができます)。

⑤ INTERGLAD 起動

デスクトップに表示された[INTERGLAD 7.* SA]アイコンをダブルクリックすると INTERGLAD システムが起動し、メイン画面が開きます。ライセンスキーの入力を要求するダイアログ(下記)が現われますので、CD 中のライセンスキーをコピーして貼り付け、[OK]ボタンをクリックします。以上の操作によりインストール・設定が終り、検索等の処理を実行できます。



⑥ Java Ver. 8 対応暫定版の利用

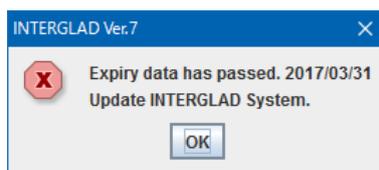
Java Ver. 8 使用の場合にもフル機能が利用できるよう検討中であり、その暫定版を使用できます。本暫定版は、ODBC データベースへのアクセス機能を JDBC、UCanAccess により補完したもので、ユーザーデータ登録・変換以外のすべての機能が利用できます。既登録のユーザーデータはサーバーデータと一緒に検索また予測に使用することができます。

本システムを利用する場合には、CD 中の"interglad-7.*.*.0b-sa.zip" をパソコン内

にダウンロード、展開し、[interglad7]バッチファイルをダブルクリックすることによりシステムを立ち上げます。最初の立ち上げにのみ多少時間を要します（10分程度）。

4. スタンダード版、CD フル機能版のアップデート方法

スタンダード版の場合、メイン画面のメニューバーの[Help]より[Check Update]をクリックし、[INTERGLAD Downloads]ページを開き、新バージョン（7.*.*）がある場合にアップデートを行います（下記②～⑩の操作）。また「使用期限が過ぎています」（下図）とのダイアログが現れた場合には、下記①～⑩の操作によりアップデートを行います。



- ① ニューグラスフォーラムのウェブサイトより INTERGLAD ページを開き、画面右のメニューより INTERGLAD 接続の[スタンダード版システムダウンロード]をクリックします。次に User ID、Password を入力し、[LOGIN]をクリックし、さらに[Download]をクリックします。
- ② 開いた [INTERGLAD Downloads] ページの最新 Version の INTERGLAD 7.* Software Downloads よりパソコンの OS に合った INTERGLAD システムのインストーラー（Windows 7、8、10 の場合、interglad-7.*.*-setup-win.exe）を選択し、パソコンにダウンロードし、保存します。Java Ver. 8 対応暫定版を使用することもできます（2. ⑥参照）。
- ③ ユーザーデータにデータ登録がある場合（登録がない場合には④へ）、アップデートの前に、必ずユーザーデータファイル(GP_user_7*.mdb)をバックアップします。ユーザーデータファイルは、デフォルトの場合、以下に保存されていますので、[INTERGLAD7.0]フォルダからデスクトップなどに移します。
Windows Vista、7、8、10 の場合、C:¥INTERGLAD 7.0¥GP_user_7*.mdb
(Windows XP の場合、C:¥Program Files¥New Glass Forum¥INTERGLAD 7.0¥GP_user_7*.mdb)
- ④ コントロールパネルからプログラムのアンインストールまたは変更を開き、[INTERGLAD7.*]をアンインストールします。アンインストールを行わずにアップデートを行うと途中でエラーとなります。
- ⑤ ユーザーデータ機能を使用する場合には、Java Ver. 7 (32bit 版) が必要なため、Ver.7 がインストールされていない場合にはインストールします。ユーザーデータ機能（変換、登録、検索等での使用）以外のすべての機能は Java Ver. 8 (32bit 版)がインストールされていれば使用できます。（1. ②参照）
- ⑥ ①で保存したインストーラーをダブルクリックし、PC へのインストールを行います。

- ⑦ Java Ver. 7 使用の場合には、[interglad7]バッチファイルを書き換えます（2. ④参照）。
- ⑧ 新たにインストールした[INTERGLAD 7.0]フォルダ中に②で保存した GP_user_7*.mdb を入れます（Ver. 7.5 以前、*が 5 以下の場合）。保存したファイルが GP_user_76.mdb の場合には、新たな GP_user_76.mdb をフォルダからデスクトップ等に出し、保存したファイルと差し替えます。
- ⑨ ユーザーデータが GP_user_7*.mdb（Ver. 7.5 以前）の場合には Ver. 7.6(76)への変換登録をします(第 4 章 6.1 (2) (F)参照)。
- ⑩ デスクトップの[INTERGLAD 7.*]アイコンをダブルクリックして INTERGLAD を起動します。メイン画面より環境設定(Preference)小画面を開き、Local Database および User Database の[MDB File]欄に最新のファイルを選択して入れ、[OK]ボタンをクリックします。

CD フル機能版の場合にも、新たな Version の CD を NGF より受領したとき、上記の①～⑨の操作を行います。この場合、①の INTERGLAD システムのインストーラーは、NGF より送付された新たな CD 中のインストーラー(interglad-7.*.*-sa-setup-win.exe)となります。②、③、⑦の[INTERGLAD 7.*]は[INTERGLAD 7.* SA]となります。⑨の[INTERGLAD 7.*]アイコンは、[INTERGLAD 7.* SA]アイコンとなります。

5. 新 INTERGLAD サーバーへの移行に伴う接続先変更方法

INTERGLAD サーバーが 2017 年 5 月 23 日より新サーバーに変わりました。このため、以前よりのスタンダード版を使用の場合、接続先 IP アドレスの変更が必要となります。変更を行わないとスタンダード版の使用ができません。

- ① スタンダード版を立ち上げ後、ダイアログ ”Cannot Connect INTERGLAD Server. Setup Network Configuration?” が現れた場合には、ダイアログの OK ボタンをクリックし、環境設定(Preference)小画面を開きます。
- ② 環境設定小画面の Server Database の Server URL 3 カ所を 61.194.5.20 より 153.121.91.149 あるいは www.interglad.jp に入れ替えます（画面図参照）。
- ③ OK ボタンをクリックします。

上記操作は 1 回行えばよく、INTERGLAD を使用する毎に行う必要はありません。

なお、インターネット版利用の場合には、java 例外サイトへの <http://153.121.91.149> あるいは <http://www.interglad.jp> の追加が必要となります。1. を参照ください。

環境設定小画面
<変更前>

INTERGLAD 7: Preference

INTERGLAD: Preference

DB Site
 INTERDLAD Data
(Server Local)
 User Data

Language
 English
 Japanese

Default Unit & Max Data
Component Unit: mol%
Property Unit: Common
Max Data: 1000

Network Connection
 Direct Connection to the Internet:
 Proxy Configuration: HTTP Proxy: _____ Port: _____ Advanced

Server Database
Server URL (Authentication): 61.194.5.20
Server URL (Glass Property): 61.194.5.20/gp
Server URL (Glass Structure): 61.194.5.20/gs

Local Database
MDB File (Glass Property) (ODBC: GP_LOCAL): C:\INTERGLAD 7.0\GP_32_2017.mdb Select
MDB File (Glass Structure) (ODBC: GS_LOCAL): C:\INTERGLAD 7.0\GS_25_2017.mdb Select

User Database
MDB File (Glass Property) (ODBC: GP_USER): C:\INTERGLAD 7.0\GP_user_76.mdb Select
MDB File (Glass Structure) (ODBC: GS_USER): C:\INTERGLAD 7.0\GS_user_70.mdb Select

Default Search Condition File
File (Glass Property): _____ Select
File (Glass Property, Regression Analysis): _____ Select
File (Glass Structure): _____ Select

Default Folder
Folder (Open and Save Files): _____ Select

OK Cancel

<変更後>

Server Database
Server URL (Authentication): 153.121.91.149
Server URL (Glass Property): 153.121.91.149/gp
Server URL (Glass Structure): 153.121.91.149/gs

あるいは

Server Database
Server URL (Authentication): www.interglad.jp
Server URL (Glass Property): www.interglad.jp/gp
Server URL (Glass Structure): www.interglad.jp/gs